



# 20 くにの ために いのろう

## Ⅱ列王 19章 35節

その夜、主の使いが出て行って、アッシリヤの陣營で、十八万五千人を打ち殺した。人々が翌朝早く起きて見ると、なんと、彼らはみな、死体となっていた。

イスラエルには、ダビデ、ヒゼキヤ、ヨシヤという3人の立派な王がいました。その中でも、ヒゼキヤは、ダビデのように神様の目に「とても良かった」という記録が残っています。

ヒゼキヤは王になってすぐに、偶像と他の神々をおがんでいた場所を壊しました。強大国アッシリヤに出していた税金も出さないと通告しました。すると、アッシリヤの軍隊十八万五千人がサマリヤを攻め取って、エルサレムにも攻撃してきました。このとき、ヒゼキヤが神殿に入って、命をかけて祈りました。祈ったその夜、神様は主の御使いを送って、アッシリヤの軍隊十八万五千人を打ち殺す証拠をくださり、全世界に福音が宣べ伝えられるようにされました。

レムナントならば、自分の国のために祈らなければなりません。この国の政治、経済、社会、文化の中に働くサタンの勢力が崩れるようにです。神様がヒゼキヤの祈りを聞かれたように、国と民族と世界を生かした祝福を与えられるでしょう。その祝福を味わう証人になりましょう。



### きょうのみことば

Blank lines for writing the daily verse.



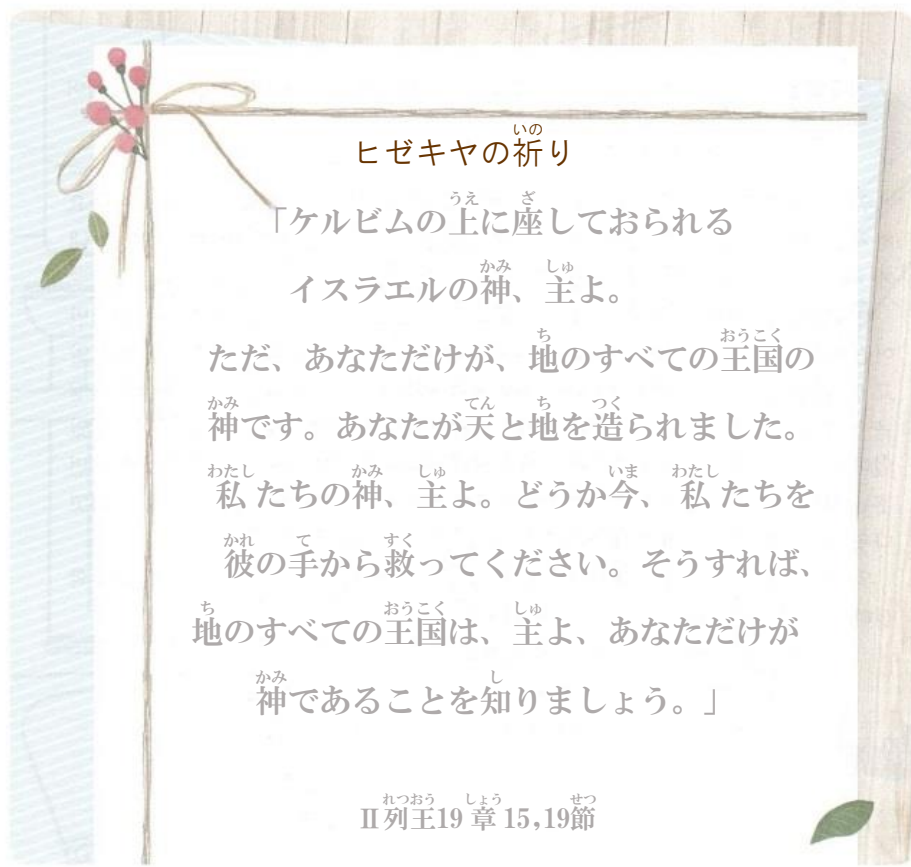
### きょうのいのり

神様、祈る時間にアッシリヤの軍隊十八万五千人が打ち殺されたように、この国を支配している暗やみが崩れる時間になるように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



かいて  
みよう

ヒゼキヤの祈りを上からなぞって書いて、国のために祈りましょう。



## ヒゼキヤの祈り

「ケルビムの上に座しておられる

イスラエルの神、主よ。

ただ、あなただけが、地のすべての王国の神です。あなたが天と地を造られました。

私たちの神、主よ。どうか今、私たちを

彼の手から救ってください。そうすれば、

地のすべての王国は、主よ、あなただけが

神であることを知りましょう。」

Ⅱ列王19章 15,19節



### きょうのでんどう

あひと  
会う人

じゆんび  
しりょう  
準備する資料

Blank grid area for writing names and preparation materials.



# かみさまが ねがっておられる ばしょ

## 1 サムエル 3章 19節

サムエルは成長した。主は彼とともにおられ、彼のことは一つも地に落とされなかった。

私たちは、ふと、目の前にある問題が気になってしかたがなくなることがあります。ところが、事実を見てみると、その問題は重要ではありません。また、答えと証拠も重要なことではありません。最も重要なことは「いま私は神様が願っておられる場所にいるのか」です。

神様のみことばが消えていた時代、祭司エリの目はかすんでいて、自分の所で寝ていたのですが、幼いサムエルは、契約の箱のそばで寝ていました。ある日、神様が契約の大切さを知って契約の箱のそばにいたサムエルに、重要なミッションをくださいました。この日以来、神様の御声を通して、はっきりと神様のみことばを見たサムエルは、神様が与えてくださる力を味わうことができました。サムエルが受けた神様のくださる力は、想像もできない力で、幸せでした。後にサムエルは、ミツパ運動を行って、ペリシテに奪われた契約の箱を取り戻しました。そして、ダビデという次世代を立てて、未来を変える準備をしました。

私たちもサムエルのように、神様が願っておられる場所にいるように祈りましょう。神様のみことばがはっきりと見える、最高の答えを受けるようになるでしょう。



いろをぬろう

契約の箱のそばで寝ていたサムエルに色をぬって、私に与えられている現場を黙想しましょう。



きょうのみことば

Blank lined area for writing the daily message.



きょうのいのり

神様、救いをください、神の子どもとしてくださって、ありがとうございます。神様が願っておられる場所で、サムエルのように使命をやりとげる幸せを与えてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。  
アーメン



きょうのでんどう

あひと  
会う人

じゅんび  
準備する資料

Grid area for writing names and preparation materials.



# 22 あたらしい ちから

すいようび

**I サムエル 16章 13節** サムエルは油の角を取り、兄弟たちの真ん中で彼に油をそそいだ。主の霊がその日以来、ダビデの上に激しく下った。サムエルは立ち上がってラマへ帰った。

幼い時期のダビデはとても孤独で、大変な羊飼いの仕事をしていました。しかし、ダビデは、落ち込んだり、不信仰になったりしませんでした。神様がくださった時間だと思って、信仰と実力、福音と生活を準備しました。また、多くのみことばを黙想しながら、神様をほめたたえる詩をつくりました。特に、賛美するとき悪霊が離れるほど、霊的な力をつけました。

神様はこのようなダビデに、大祭司サムエルを送って、とても重要なことを任せられました。サムエルは、ダビデに契約の箱と神殿について話をしました。これから多くの困難があるけれども、絶対に失敗しないとしました。ダビデに油を注ぎながら、これから王になるとしました。この日以来、ダビデに神様の霊が下り、新しい力を受けて、神様の御名を高めて、全世界に御名の栄光を示しました。

私達もダビデのように、神様の霊が下って新しい力を受ける、聖霊の満たしを求めましょう。その力で神様に栄光をささげる現場のレムナントになるでしょう。



## きょうのみことば

Blank lines for writing the daily verse.



## きょうのいのり

神様、私をレムナントとして呼んでくださったと信じます。いまはなににもできないのですが、聖霊に満たされて、時代を生かすことができるように、新しい力をください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



なやんでいます

今月は、どんな悩みがあるのでしょうか

**パク・ウヨン牧師夫人!**  
わたし、なやんでいます!  
21の伝道者の生活3番目の質問

**聖霊に満たされるためにはどうすればよいのでしょうか**

聖霊の満たしは、神様の約束が心を支配するようになると、その約束に集中して祈るときに与えられる神様のプレゼントです。みことばの霊である聖霊によって、私たちの心がいつばいに満たされれば、疑いや不平が消えます。神様のみことばが実際に信じられる状態(確信)になります。それだけでなく、不思議とイエス様を自慢したくなります。心が幸せになって、イエス様に喜ばれることを探そうになって、まわりまでも生かすようになるでしょう。

聖霊の満たしは、神様が神の子どもなら誰にでも与えると約束されたことです。復活されたイエス様が弟子を訪ねてきて言われたみことばも「聖霊を受けなさい」(ヨハネ 20:22)でした。

オリーブ山で、復活されたイエス様と40日間ともにいてイエス様の昇天を自撃した弟子たちは、神様の約束を信じることができました。それは、神様が約束された聖霊の満たしを求めて、ただ祈りに集中していたからです。神様が約束された時刻表になったとき、聖霊に満たされる答えが来ました。

私達も、いっしょに聖霊の満たしの中に入るように、心をつくして祈りましょう。聖霊の満たしを通して、神様に喜ばれる、栄光を受けた働き的主人公になっているでしょう。



## きょうのでんどう

会う人

Blank grid area for writing the church meeting details.

準備する資料

Blank lines for writing the preparation materials.



# 23 キリストのからだなる きょうかい

もくようび

## エペソ 4章 11~12節

こうして、キリストご自身が、ある人を使徒、ある人を預言者、ある人を伝道者、ある人を牧師また教師として、お立てになったのです。それは、聖徒たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストのからだを建て上げるためであり、

私が知っている教会は、どんな姿をしていますか。聖書において教会とは、救われた神の子どものことを指して言っています。(Iコリント3:16) 福音であるイエス・キリストによって救われた神の子どもたちが集まって神様に賛美して礼拝をささげる教会堂も教会です。(使徒18:18~20) 教会堂は、神様によって講壇の上に立てられた牧会者を通して、信徒にキリストが正確に宣べ伝えられる所です。それだけではありません。教会は、救われた者の天国の背景のことも言います。(ピリピ3:20) 教会は救われたさまざまな人がそれぞれちがう働きのために集まって、神様のみこころが成される所です。それゆえ、さまざまな信徒がひとつになって、キリストのからだを建て上げる所です。(エペソ4:11) 神様は全世界にいるキリストの弟子がともに祈って、宣教によって世界を生かす教会になることを望んでおられます。私を救ってください、教会の祝福をくださった神様に感謝しましょう。そして、神様のみこころどおりに、私がいる所、私が行く所、私と会う人が教会の祝福を味わうことを期待しながら祈りましょう。

### きょうのみことば

### きょうのいのり

神様、救ってください、教会の祝福をくださって、ありがとうございます。神様のみこころであるキリストが全世界に宣べ伝えられる答えの中に、私がいることができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



教会は救われた者の集まりです。救われた姿ではない、現場を通過して、教会までたどり着きましょう。



### きょうのでんどう

あひと 会う人

じゅんびょう 準備する資料

Blank lines for writing preparation materials.



# かこの きずから ぬけだそう

Ⅱコリント だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。  
5章 17節 古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。

小さな傷でも触れば痛いように、私たちの目に見えない過去の傷は、いろいろな霊的問題として現れることがあります。

イスラエルの民が神様を離れて強大国の奴隷として生きていく中で、奴隷根性が刻印されました。神様が直接、立てられた指導者を通してカナンに行けというみことばをくださったのですが、深く根をおろしてしまった荒野根性と、すでに体質になった捕虜根性、属国根性のために、自分たちもわからないうちに苦しみを受けるようになりました。

傷の中でも最も大きな傷は、神様を離れた傷です。サタンの奴隷となって、のろいとわざわいの中を生きるときに来る問題は、霊的問題として現れるので、それによって苦しむしかありません。目に見えないこの傷は、私たちの力では解決することができません。だから、神様がイエス・キリストを送ってくださったのです。小さな傷も、イエス・キリストを信じて神様のみことばで新しい刻印、根、体質となるときに、いやされます。神様の御手に過去の傷をまかせて、いやされた新しい私を造ってくださった神様に感謝する一日にしましょう。

## きょうのみことば

Blank lines for writing the daily verse.

## きょうのいのり

神様、イエス・キリストを信じて、目に見えない傷がいやされたことに感謝します。行くすべてのところがいやされる力の現場になりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを適用しよう

過去の傷のために、苦しんでいる友だちを思い出しながら福音が必要な友だちに下の質問から選んで伝えてみましょう。霊的な招待をしましょう。

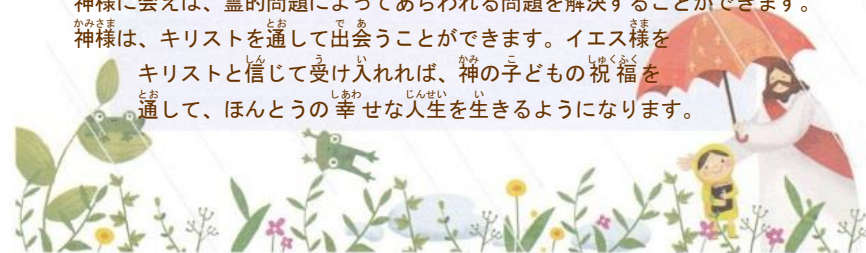
## お友だちへ

もしかして、こんな問題はないですか？

- 1 毎日、寝るとこわい夢を見ます
- 2 いつも不安で、心配、悩みが多いです
- 3 家の中に偶像がたくさんあります
- 4 勉強に集中できません
- 5 他の人に言えないくせがあります
- 6 パパとママがよくけんかをします
- 7 他の人の物がほしくなります
- 8 死にたいです

お友だちへ。いま、幸せですか。たくさんの子どもたちが欲しいものを手に入れても、ほんとうの幸せを知らずに生きています。人は、霊的な存在なので、ただ神様の中にいるときだけ、私が満たされるようになっています。神様に会えば、霊的問題によってあらわれる問題を解決することができます。神様は、キリストを通して出会うことができます。イエス様を

キリストと信じて受け入れれば、神の子どもの祝福を通して、ほんとうの幸せな人生を生きようになります。



## きょうのでんどう

会う人

準備する資料

Grid area for writing names of people to meet and preparation materials.



# れいてきな ちから

**1列王 19章5節** 彼がえにしだの木の<sup>き</sup>下で横<sup>よこ</sup>になって眠<sup>ね</sup>っていると、ひとり<sup>ひとり</sup>の御使<sup>みつか</sup>いが彼<sup>かれ</sup>にさわって、「起きて、食<sup>た</sup>べなさい」と言<sup>い</sup>った。

世界<sup>せかい</sup>を動<sup>うご</sup>かしたエジプト、バビロン、アッシリヤ、ローマ<sup>ていこく</sup>帝国<sup>ていこく</sup>は、聖書<sup>せいしょ</sup>の預言<sup>よげん</sup>のとおり滅<sup>ほろ</sup>びました。聖書<sup>せいしょ</sup>には、ユダヤ人<sup>じゅだじん</sup>の滅<sup>ほろ</sup>びについても預言<sup>よげん</sup>されていたのですが、聖書<sup>せいしょ</sup>のみことばそのまま成<sup>な</sup>就<sup>じゅう</sup>しました。必<sup>かなら</sup>ず成<sup>な</sup>就<sup>じゅう</sup>する神様<sup>かみさま</sup>のみことばが書<sup>か</sup>いてある聖書<sup>せいしょ</sup>には、私<sup>わたし</sup>たちが握<sup>にぎ</sup>らなければならない神様<sup>かみさま</sup>の契約<sup>けいやく</sup>があります。

ある日<sup>ひ</sup>、神様<sup>かみさま</sup>の預言者<sup>よげんしゃ</sup>エリヤに大<sup>おほ</sup>きな危<sup>き</sup>機<sup>き</sup>が訪<sup>おとず</sup>れました。逃げたエリヤが、えにしだの木の<sup>き</sup>ところ<sup>ところ</sup>に到<sup>いた</sup>着<sup>ちゃく</sup>して、神様<sup>かみさま</sup>に死<sup>し</sup>ぬ事<sup>こと</sup>を祈<sup>いの</sup>りました。神様<sup>かみさま</sup>は、そのようなエリヤに、むしろ準<sup>じゆん</sup>備<sup>び</sup>しておられた<sup>おこ</sup>うございました。それゆえ、主<sup>み</sup>の御使<sup>みつか</sup>いを送<sup>おく</sup>って、水<sup>みづ</sup>とパン菓<sup>がし</sup>子を<sup>じやうじゆ</sup>く<sup>か</sup>ださり、力<sup>ちから</sup>を与<sup>あた</sup>えられました。神様<sup>かみさま</sup>は契約<sup>けいやく</sup>を与<sup>あた</sup>えられ、エリヤの心<sup>こころ</sup>と考<sup>かんが</sup>えを<sup>か</sup>えられました。また、目<sup>め</sup>に見<sup>み</sup>えない<sup>な</sup>すべ<sup>な</sup>のわざわいを防<sup>ふせ</sup>ぐた<sup>め</sup>に、バアルにひざまずかない七<sup>なな</sup>千<sup>せん</sup>の弟<sup>でし</sup>子<sup>こ</sup>を残<sup>のこ</sup>して、ドタン<sup>うんどう</sup>運<sup>うんどう</sup>動<sup>どう</sup>にま<sup>は</sup>たつ<sup>な</sup>る働<sup>はたら</sup>きをする<sup>し</sup>霊<sup>れい</sup>的<sup>てき</sup>な<sup>ちから</sup>力<sup>ちから</sup>も<sup>も</sup>く<sup>く</sup>だ<sup>だ</sup>さい<sup>さい</sup>ました。ついにエリヤは神様<sup>かみさま</sup>が<sup>か</sup>く<sup>く</sup>だ<sup>だ</sup>さ<sup>さ</sup>った<sup>た</sup>霊<sup>れい</sup>的<sup>てき</sup>な<sup>ちから</sup>力<sup>ちから</sup>で戦<sup>たたか</sup>わ<sup>わ</sup>ない<sup>い</sup>で勝<sup>しょう</sup>利<sup>り</sup>した<sup>た</sup>のです。

変<sup>か</sup>わ<sup>わ</sup>ら<sup>ら</sup>ない<sup>い</sup>神<sup>かみ</sup>様<sup>さま</sup>のみ<sup>み</sup>こ<sup>こ</sup>と<sup>と</sup>ば<sup>ば</sup>を握<sup>にぎ</sup>り<sup>り</sup>ま<sup>ま</sup>し<sup>し</sup>ょう<sup>う</sup>。エリヤのよう<sup>よう</sup>に、私<sup>わたし</sup>の現<sup>げん</sup>場<sup>ば</sup>に<sup>に</sup>あ<sup>あ</sup>る<sup>る</sup>神<sup>かみ</sup>様<sup>さま</sup>の備<sup>そな</sup>え<sup>え</sup>ら<sup>ら</sup>れた<sup>た</sup>契<sup>けい</sup>約<sup>やく</sup>が私<sup>わたし</sup>を<sup>を</sup>通<sup>とお</sup>して<sup>して</sup>成<sup>じゅう</sup>就<sup>じゅう</sup>する<sup>る</sup>霊<sup>れい</sup>的<sup>てき</sup>な<sup>ちから</sup>力<sup>ちから</sup>を<sup>を</sup>く<sup>く</sup>だ<sup>だ</sup>さ<sup>さ</sup>る<sup>る</sup>で<sup>で</sup>し<sup>し</sup>ょう<sup>う</sup>。この<sup>この</sup>約<sup>やく</sup>束<sup>そく</sup>を<sup>を</sup>確<sup>かく</sup>認<sup>にん</sup>し<sup>し</sup>な<sup>な</sup>が<sup>が</sup>ら、<sup>き</sup>よ<sup>よ</sup>う<sup>う</sup>も<sup>も</sup>み<sup>み</sup>こ<sup>こ</sup>と<sup>と</sup>ば<sup>ば</sup>に<sup>に</sup>集<sup>しゅう</sup>中<sup>ちゅう</sup>し<sup>し</sup>ま<sup>ま</sup>し<sup>し</sup>ょう<sup>う</sup>！

## きょうのみことば

## きょうのいのり

神様、大きな苦しみと問題は、神様のみことばから霊的な力を受け取るチャンスだと信じます。きょう、そのみことばが私に成就するように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



体力をつけよう

下の姿勢を10秒間保てば、40日40夜歩いたエリヤのような体力がつくように鍛えられるでしょう。



10秒間姿勢を保ち、少し休んだあともう一度、10秒間姿勢を保ちます。4回くりかえして1セットです。3セットを目標に挑戦しましょう！



きょうのでんどう

あひと 会う人

じゆんび しりょう 準備する資料